

第30回例会感想 ありがとうございます。

久しぶりに IOC の話をききました。身近には胃ろうの人が多く残念に思います。

( 歯科衛生士 )

現在 IOC を実施しているが、重白先生の事例のプロセスをみて、IOC の効果のすばらしさ、成果に感動しました。IOC の受け皿の小さなおどろきました。( 看護師 )

IOC の利点・問題点を把握できました。施設での IOC は本当に難しいですけど、食事は口から」という思いのもとに介助に当たっているで、これからもっと IOC が広まれば良いと思います。( 介護福祉士 )

今日は、とても勉強になり良かったです。今まで、口腔摂取が不可能な方は PEG しかないと思っていたのですが、以前から自然な摂取方法とは思えませんでしたので、これからは是非 IOC が広まり 1 人でも多くの方が、また口から物が食べられるようになれば良いと思いました。( ケアマネ )

初めて IOC を知りました。自施設では胃ろうを造設されている方で経口摂取が可能な方は少ないです。お楽しみ程度でも経口摂取が可能な方が増えるといいなと思いました。( 栄養士 )

病院で IOC が選択肢となっていればと思いました。IOC によって嚥下、覚醒レベルアップする話が印象的でした。( OT )

IOC の現状が少しわかり良かった。在宅ではチームを組むのが難しいと思った。養和 HP 等であれば可能なこと知りました。また IOC の話を聞く機会を作り専門職だけでなく家族へも話してほしいと思う。( ケアマネ )

職種の違いによって、IOC に対する疑問点の

違いが大きいと感じ、勉強になりました。( ST )

PEG と IOC との違い、利点などをお聞きして、歯科衛生士として口腔内に目がいきやすいということとても印象に残りました。口から食べていない=歯磨きしないという意識がとても多いです。IOC により、口腔ケアにも注目していけると良いと思います。今日はありがとうございました。( 歯科衛生士 )

PEG が主流となっている今の世の中だが、より人間的な介護( 対象者主体 )をこれからの時代は実践していくべき所である。なので、手間などがかかるという事を言い出す前に現状を少しでも変えていけるように研修などで、しっかり勉強し、そこで得た知識を持ち帰って皆に広めて行くことがなにより大切なのだと思います。( PT )

IOC の有用性より、PEG の有用性もあり、両者の適応は充分考慮が必要( 医師 )

私の仕事が在宅に深いため、介護者が IOC を習得する事が難しいのかなと思もしました。実際に操作が簡単であれば、普及しているのではないかと思います。( ケアマネ )

昨日まで食べれた方が、入院 胃ろうとなったケース、ご家族も納得のないまま PEG になったと聞いた事があります。入院続けるならばサイン( PEG )をしないとおいてもらえないという感じでサインさせられたと HP によって考え方に大きな差があるのだと実感させられました。

IOC について、地域に広まり根付いてほしいと思います。できない理由を選べるのではなくメリット、デメリットを考えメリットの方が大きく、IOC の適応の方には、積極的に取り入

りたいです。(ST)

経口摂取の大切さを感じたが、えん下困難になったら胃ろうを検討される医師が多いと思う。なかなか IOC に取り組めないの現状を感じた。(ケアマネ)

施設で現在約 20 名の経管栄養の方がおられ、IOC は残念ですが、一人もいらっしやいません。20 名のうちの半分 10 名が IOC と考えた場合、現状として時間の問題、人的問題があり不可能と考えます。しかし数名であれば対応可能と思います。1 人の人間として、出来るだけ経口から食べてほしいし食べさせてあげたいと思います。(看護師)

IOC は素晴らしい方法です。もっと普及して欲しい。急性期病院では PEG に踏み切るタイミングが早すぎるのではないか。嚥下のリハをきちんとすれば口から食べれるようになる方は結構おられます。(医師)

IOC をする場合、スタッフが一丸となつてする必要があり。在宅へ向けての取り組みをしても、その先の受け入れ(デイケア)でどうか。(看護師)

急性期病院と在宅でのギャップ(IOC PEG の選択)が大きいことがよく理解できた。まず、医療職、特に急性期病院できちんと知識の向上、理解、周知が必要となることも分かった。(PT)

「IOC」初めて聞いた名前でした。IOC 発展を聞く限り、とても良さそうでしたが、グループディスカッションでは難しい、大変時間がかかる施設で受け入れてもらえないなどの意見がありました。患者さんにとってもご家族にとっても IOC が良いというのであれば、どんどん広まってほしいと思いました。口腔ケアの大切

さも話してもらえたので、広まればと思っています。(歯科衛生士)

IOC の良さを再認識させていただくことが出来て良かったように思います。又、IOC は食事だと考えておられることから野菜ジュースなども入れているという事例を聞く事ができ当院でも考えていいかなと思いました。365 日同じ栄養剤しか入らないことを考えると、、、(栄養士)

胃ろうで MRSA や肺炎などほとんど無かった。口腔ケアの問題と思う。胃ろうと比較するのはどうでしょうか。IOC は良い方法と思う。本人のことを考えると IOC がいい場合もあると思うので、症例を見極める必要がある。嚥下の効果もあるなら、効果がないなら胃ろうも検討し、在宅へつなげていくことも必要と思う。デイケアには看護師がいるのに IOC ができていないのは何でしょうか?! チューブの挿入には資格が必要。“責任”ということは無視できないと思う。(ケアマネ)

IOC は経管栄養法である、経口栄養摂取法でもあると認識しました。食事として、再確認することができた。(看護師)

胃ろう推進の Dr の話と重白 Dr の話で選択する引き出しがほしいなあ。と思いました。(ケアマネ)

IOC が良い方向にあると言われるのだが介護する立場にとって対応する面で不安を感じる。PEG にしなくても大丈夫なのにその方が楽だからという現状があるという事がわかった。(介護員)

IOC を知らない方がまだ多いんだなあと思いました。胃ろうされる方は当院でも多いですが、

ご本人の意思の尊重ができていないのが現状かなと思います。まだ、食べれているのに胃ろうをつくらないといけないケースは心が痛みます。PTとしては何もできないので、、、。(PT)

実際は IOC の方に関わったことはありませんが、様々な症例を聞きとて勉強になりました。食事は口から摂ることは、やはり大切なことだと思いました。IOC 訓練で、経口摂取が徐々に UP してくれるということ、又、可能性、楽しが増えるのではないかと思いました。良い勉強になりました。ありがとうございました。(介護員)

IOC 自体がどんなものか知らなかったので、まず、基本的な勉強になった。それプラス、メリット、問題点も良く分かった。(介護福祉士)

今回、IOC という手技を初めて聞きました。患者さんご本人やご家族の心境を考えると、PEG 造設は経口摂取ができないという絶望感(そうではないのですが)を与えるところがあり、IOC の情報も医師から伝えられないといけないと感じます。(社会福祉士)

PEG と IOC の利点、欠点、施設、在宅での現状などがあらためてわかり、勉強になりました。(看護師)

食事が食べれなくなった時の選択肢として患者様やご家族が選べるということはすばらしいことだと思います。しかし、IOC ができる患者様も現実限られるように思います。認知症のひどい方で介護に抵抗される方や介護力の無い方など難しいと思います。(社会福祉士)

改めて IOC の良さを確認しました。それなのに、何故、広がらないのか、構造的な課題があるかもしれません。

今回のような比較的新しい分野がテーマのものはグループディスカッションがなくても、講演、報告、質疑応答でも十分だったように思う。(ケアマネ)

IOC の好い面、悪い面を知ることが出来たと思います。(管理栄養士)

IOC や PEG について、知らないことばかりでしたが、IOC の良さなど聞く事が出来て、とても勉強になりました。施設の受け入れが難しく、PRG になってしまうということがこれから、少しでも減っていくと良いと思いました。口から食べることがとても大切だと感じました。(介護員)

IOC 導入するのにも、スタッフ(Dr を含めて)の理解が必要かと思う。(ST)

今回、IOC という栄養法について初めて詳しく聞けました。嚥下機能の改善を始め、その他様々な機能の改善に寄与するということを知りました。間歇的ということより、常にチューブが入っている状態だと認知症の患者さんでは抜いてしまうといったことも防げるのかなというふうにも思いました。(医師)

今まで胃ろうと IOC が何故わかれているのかわからないでいました。今日聞いた IOC から経口摂取にうつる事ができるという事を始めて知りました。今後の仕事にうまく活用していけるといいと思います。(介護福祉士)

勉強させていただきました(医師)

急性期でもっと普及できれば在宅でも普及が進むと考えます。IOC は回復期には当たり前前の事であり、摂食嚥下のリハビリテーション

の基本となっています。(PT)

IOC と IOG の違い、PEG との比較、メリットなどとてもわかりやすかった。(薬剤師)

将来的にはどちらかを選択しなければならないのかなと思いつつ、勉強しながら技術を磨いていきたいと思いました。良い勉強になったと思います。(介護員)

IOC の優位差が分かり施設でも勧められる。PEG で逆流性食道炎をおこし固形注入の人がほとんどの状態。IOC が広がってほしいと思います。(ケアマネ)

養和病院の先生がおられ、話をきいて参考になりましたが、IOC は本人のためには良いかもしれないが、在宅では家族の方の介護力がないとできないとのこと納得しました。施設や病院内ではその方がいいと思います。IOC をするのにいろいろなりハビリをしてからではないとできにくいところがあり、状態の悪い方には胃ろうになるのかなと思いつつ、実物が見れなかったのが残念でした。(介護福祉士)

IOC がすすむといいなと思います。将来家族でも出来るようになると経口摂取が一番と思うので。(介護員)

以前、PEG の勉強会があった時には医療側の人達が PEG はあたりまえでとても有効と話されました。本日の話では IOC が良いとの話がありました。自分自身では混乱してしまいました。IOC について手技をもっと詳しく知りたかったです。ひとつの選択として IOC があるということが良く分かりましたので良かったです。(看護師)

やはり人間として最後まで食べる楽しみがあ

ったほうがいいと思いました。もし、自分が意識が残っているのなら可能な限り口からの経口摂取がいいと思いました。(看護師)

やはり人間として最後まで食べる楽しみがあった方がいいと思います。もし自分が意識が残っているのなら可能な限り口からの経口摂取がいいと思いました。(看護師)

全く初めての言葉でしたが、これから介護の現場でも現実になりうるだろうと思います。慎重に考えるべき問題だと思います。いろいろな問題があると思いますので。(介護福祉士)

全く初めての言葉でしたが、これから、介護の現場でも現実になりうるだろうと思います。慎重に考えるべき問題だと思います。いろいろな問題があると思いますので。(介護福祉士)

IOC 初めて聞きました。自分達の所で受けて下さいと言われた場合、考えさせて下さいと言います。(介護員)

IOC の良さや、普及するまでの問題点について改めて考えさせられた次第です。確かに PEG は無難で安全かもしれませんが、患者さんの立場に立って色々可能性を探れば自ずと IOC になるものと思います。(PT)

人間は本来、口から食べ物を摂取する生き物です。鼻から食事をするべきではないと思います。IOC の勉強会がもっとあればいいと思います。チューブを挿入するのはヘルパーでも可能ですか？(ST)

IOC と PEG の造りは理解出来たが、在宅で広がるには問題点が多いと思う。まずは病院、老健などで行って欲しいと思う。(ケアマネ)

初めて参加させて頂きました。他職種の方の意見を聞けてとても参考になりました。(看護師)

IOC の良さを改めて感じました。実際に現場で見ていると IOC の人の方が全体的に回復していることが多い様に感じます。また PEG は PT を行う上でとても邪魔に感じる時があります。(PT)

他職種が集まって議論する場があって良かった。リハビリの分野では IOC が知られているがリハビリ以外の職種にも知っていて欲しいと思っていたが、こういう場を生かして IOC 実施の施設が増えて欲しいと思います。

(ST)

リスクばかりを考えてしまい、患者様、Fa の尊厳は軽視されがちなのではないかと思いました。私達医療従事者はリスクを 1 番に考えるのではなく、まずは患者様の回復に何が出来るのかを勉強することが使命だと思います。

(ST)

IOC でがんばれば、経口まで頑張れることがわかった。PEG を安易に患者さんにすすめてはならないと思った。(医師)

IOC が良い方向になっていく環境が整ってほしいと思う。自己実現に向かっていく、食べれる、元気が出る施行が出来ると人間らしさが整っていったらなと思う。医療機関の認識不足の解消が先決と思います。(介護福祉士)

今回重白先生の貴重なお話をうかがわせて頂き大変参考になりました。以前、IOC をしていましたが、チューブが入りづらくなり中止した後、その後は行っていません。1 人でも出来るように努力したいと思います。(ST)

IOC がもっと普及していくことを願います。全ての方が適応だとは思っていませんが、今回のタイトルの通り選択肢の 1 つとして普通を選ぶことのできる環境が理想です。過去に担当させていただいた患者様は IOC で退院されましたが、通所サービス利用時には空腹をがまんして通っておられる現状です。(ST)

IOC について基本的なところを改めて勉強することが出来て本当に良かったと思いました。また症例の報告では実際の様子、効果について知る事が出来て、是非今後の参考にしていきたいと思います。ありがとうございました。(ST)